

6 不二家

1896年(明治29年)創業以来、先代の味をまもり続けています。不二家の醤油は料亭でも利用されています。筑後市内のスーパー等でも不二家の醤油がお買い求めいただけますので、一度使ってみてください。



7 ユーデン南筑後店

「あなたの街のでんきやさん」として溝口で創業して約70年のパナソニックショップです。お家での困りごとはありませんか?電気以外の事、小さな事でもお気軽にご相談ください。お家のリフォームから太陽光発電、LPガスの事まで全てお任せください。溝口竈門神社の絵馬も販売しています。



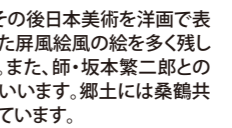
8 鳥好食肉店

創業約60年。鶏肉はもちろん、鶏のタタキ、ホルモン、ローストチキン、唐揚げなどの出来上がり商品も販売しております。お店自慢!地域でも美味しいと評判の鶏好の商品を是非!!



9 井上三綱

井上三綱(いのうえさんこう)【1899~1981】は溝口の生まれで、その名は「みつな」ともいいます。大正の頃、坂本繁二郎に師事し洋画を学びました。その後日本美術を洋画で表現する方法を研究し、日本絵の具(岩絵の具)を用いた屏風絵風の絵を多く残し、日本国内より欧米などで高い評価を受けています。また、師・坂本繁二郎の手紙には、東洋哲学的な美術論が述べられているといわれています。郷土には桑鶴共同納骨堂壁画、八女市庁舎銅板壁画などが伝えられています。



6 不二家

ヘアメイク Luz

ユーデン南筑後店

古川郵便局

ふるかわ保育園

伊藤医院

坂田歯科

5 光讚寺

恵比寿神社

8 鳥好食肉店

牛島理容店

横溝モータース

1 溝口竈門神社

5 光讚寺

溝口の北側に位置する寺院です。ここは天文11年(1542)、誠慶により回基したと伝えられています。ここのご本尊は五却思惟如来(ごきやくしいににょらい(通称「やせぼとけ」さん))で、毎年1月16日と8月16日に御開帳が行われます。また、境内には妙光寺から移されたという石刻大師座像と大日如来像、勤王家古松簡二の墓所などがみられます。古松簡二は医師清水潜龍の子として溝口に生まれ、医学を学びました。文久3年(1863)脱藩上京し、筑波山義挙に参加。後京都に入り、父の生まれた上妻郡福島町古松町にちなみ古松簡二を名乗ります。慶応2年(1866)長州征伐の際に長州入りを試みますが幕府軍に捕まり、以後3年を広島の大獄で過ごします。明治維新後は久留米に戻りますが、大楽源五郎事件(久留米藩難事件)に関わり東京に送られました。明治15年(1882)獄中にコレラが流行、簡二は囚人の看病に努め、自身も感染、亡くなりました。明治22年(1889)、大赦により罪名消滅、従四位に叙せられています。



4 福王寺

溝口にある寺院で、中世後期の創建と伝えられています。本尊は九州弘道の導師日親による開眼といわれます。桃山時代、諸国巡礼の途中にここに立ち寄った日親は、村の興廃ぶりに心を痛め、故郷から一族の者を呼び寄せ、福王寺で製紙業を始めました。時の領主たちは彼らを保護し、製紙業はついに九州一円にひろまりました。筑後地方の製紙業は昭和47年(1972)、「筑後の手すき和紙」として県の無形文化財に指定されました。溝口区の共同納骨堂には井上三綱により日源が人々に製紙業を伝える姿が描かれ、福王寺境内には彼を称えるた碑文と銅像が建てられています。



3 溝口城跡

筑後15将のひとつ溝口氏の居城で、大字溝口字城が比定地とされています。文献では正平6年(1351)、肥後(熊本県)の菊池武光が征西將軍宮・懐良親王を奉じて入城したのが初見です。溝口氏は下妻郡溝口を本拠とし、南北朝・戦国時代の文書にその名を見ます。溝口氏は天文19年(1550)、豊後国(大分県)の大夫氏に叛き城を落とされました。



2 若宮神社 (岡象群神社)

御祭神は、岡象女神(みつはのめのかみ)で、代表的な水の神です。矢部川の守り神と言われていす。敷地内の土俵では、ふるかわ保育園の園児が若宮祭の際に相撲とりをしています。



1 溝口竈門神社

溝口集落の東、矢部川に面した所に立つ神社で、別名溝口宝満神社。創建は長和3年(1014)、城主藤原武資が筑前国より勧請し、溝口城ができる前は集落西側の「古宮」にあったと言われていす。神社を囲う木々はその歴史を物語っており、竈門神社社叢として筑後市の文化財に指定されています。竈門神社には特色のある祭りとして「千燈明祭」と「キセル祭り」が伝わっています。「キセル祭り」は筑後市の奇祭として特に著名で毎年12月13日に行われています。

